

南太平洋での多国籍医療チームによる国際医療協力の実地演習

Pacific Partnership 2018 参加の医師および看護師募集

＜米国財団法人野口医学研究所 NGO として参加＞

Pacific Partnership (PP) 2018 は、アメリカ海軍・陸軍を中心に協力国として日本、オーストラリア、イギリス、その他の軍隊および NGO が、2010 年より東南アジア・南太平洋地域において災害時の多国籍医療チーム活動がスムーズに行えるようにするための演習として始められました。活動は医療のみならず、建築・土木、保健衛生援助などにおいても行われています。

2015 年より、米国財団法人野口医学研究所（以下、当財団）はこれに NGO として参加しており、第 1 回派遣（PP2015 パプアニューギニア・ブカ/ラバウ）では、当財団理事長である佐野潔医師自らが参加いたしました。第 2 回派遣（PP2016 パラオ）では、佐野潔医師と野口医学研究所選抜医師 2 名の合計 3 名、第 3 回目は野口医学研究所選抜医師 4 名と看護師 1 名の合計 5 名が参加いたしました。2018 年も 5 名程度の参加を計画しておりますので、参加していただける医師および看護師を皆さまから募集いたします。

主たる目的は、被災地・途上国の医療援助そのものにあるのではなく、言葉・習慣の異なる多国籍医療チームが、現地で如何に相互コミュニケーションをとって医療施設の設営、システム構築、運営を行っていくか、そして現地住民と如何にうち溶け友好的な関係を築いていくかを実際の医療もしながら訓練していくことにあります。

従って、コミュニケーションの中心である英語での会話力は必須であり、加えて英語圏の医療が理解でき、他国の医療関係者らと協力してチーム医療ができることも必要です。

これまで当財団は米国中心の留学援助を活動の中心にしてきましたが、野口英世博士がアフリカなど世界に活動を広げていったように、今後は財団の活動を世界に広げ、多くの日本の医師に世界で活躍していただくことを目標にこれら国際的活動の援助をしていく意向です。

主催 : 防衛省

派遣場所と期間

- : ①インドネシア 2018年4月6、7、10日を挟む約1週間（移動日を含む）
- ②スリランカ 2018年4月上旬から約2週間（移動日を含む）

募集人数 : 数名

選考方法 : 書類選考・日本語と英語による面接

活動概要 : ①インドネシア

災害医療教育（災害弱者である女性を対象とした災害医療教育の実施

②スリランカ

医療活動（歯科を含む総合診療を、現地医療施設等で実施。その他、現地医療関係者及び現地住民への公衆衛生教育を依頼する可能性あり。

*ホームページ

<http://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/dialogue/pp/2018yoryo.html>

費用 : 自宅から現地までの移動費、滞在費（ホテル）は全額支給。
食費は支給されないので、支給される日当が食費に当てられる。

- 応募資格 :
- ① 野口アラムナイ会員（新規入会も可）
 - ② 医師免許・看護師免許を有し医学英語会話の堪能な者
医師（初期研修修了）、看護師（2年以上の実務経験）
 - ③ 専門分野（家庭医療・総合内科・一般小児科・産婦人科・
一般外科・集中治療を除く救急）
 - ④ 総合的外来診療の知識経験があり単独で行える
 - ⑤ 国籍は問わない（ただし、英語・日本語堪能なこと）

- 出願書類 :
- ① 日本語履歴書（規定のもの・写真付き）
 - ② 英文履歴書（写真付き）
 - ③ 出願理由を含めた Personal Statement（400字以上）
 - ④ 日本国医師（看護師）免許証コピー（海外の医師免許も可）
 - ⑤ 初期研修修了証コピー、もしあれば専門医資格証明コピー
 - ⑥ もしあれば、USMLE, ECFMG, TOEFEL, TOEIC, IELTS, 英検等の証明書・スコアのコピー

選考方法 : 書類選考及び英語と日本語面接による

送り先 : 〒105-0001

東京都港区虎ノ門 1-22-13 秋山ビル 5F

米国財団法人野口医学研究所

医学教育&交流室 担当者

※封筒に『PP2018 応募書類在中』と記載すること。

申込締切 : 2017年1月9日(火)までに必着

問い合わせ : 杉田恭子

ryugaku@noguchi-net.com

電話 03-3501-0130



PP2015 (パプアニューギニア)、PP2016 (パラオ)、PP2017 (ベトナム) 参加写真